

医学科教育学修プログラム

令和元年度後期

2年次

【米子地区授業時間】

1時限	: 8:40 ~ 10:10
2時限	: 10:30 ~ 12:00
3時限	: 13:00 ~ 14:30
4時限	: 14:50 ~ 16:20
5時限	: 16:40 ~ 18:10

【鳥取地区授業時間】

1時限	: 8:45 ~ 10:15
2時限	: 10:30 ~ 12:00
3時限	: 13:00 ~ 14:30
4時限	: 14:45 ~ 16:15
5時限	: 16:30 ~ 18:00

令和元年度 授業時間配当表(医学科2年次)

	後 期																																				
	1週			1限			16週			1週			2限			16週			1週			3限			16週			1週			4限			16週			5限
	前半			後半			前半			後半			前半			後半			前半			後半			前半			後半									
月	基礎感染症学(7)			社会環境医学(9)			心理学(15)①					解剖学実習(10)				病理学総論(6)			解剖学実習(10)				病理学総論(6)				研究室訪問（自由参加）										
火	社会環境医学(16)						医療英語Ⅱ(15)①						ヒューマンコミュニケーションⅡ(8)			基礎感染症学(8)				ヒューマンコミュニケーションⅡ(7)①				基礎感染症学(8)													
水	基礎感染症学(16)						基礎感染症学(11)				社会環境医学(5)			解剖学実習(10)				病理学総論(6)			解剖学実習(10)				病理学総論(6)												
木	基礎感染症学(11)				病理学総論(5)			基礎感染症学(11)				病理学総論(5)			解剖学実習(10)				基礎感染症学(6)				解剖学実習(10)					基礎感染症学(6)									
金	基礎感染症学(11)				病理学総論(4)①			教養選択(15)①						解剖学実習(10)				画像診断入門(4)②				解剖学実習(10)				画像診断入門(4)			感①	社①							

※配当表のとおり実施できない場合があるので、日程はシラバスを確認すること。

※5限目等で補講を行う。休講補講等の通知は掲示板で行うので確認すること。

※()内の数字はコマ数を表す。記載のないものは15コマを意味する。

① 授業に組み込んだ予備コマ数 ❶ 調整用・試験用の予備コマ数

※金曜2時限の「教養選択」の選択科目は「医療手話」、「生活と法律 刑法」および「芸術」です。

令和元年度・七曜表

(医学科 2 年次)

16週制

	前 期							週 数
	日	月	火	水	木	金	土	
4		1	2	3	4	5	6	1
	7	8	9	10	11	12	13	2
	14	15	16	17	18	19	20	3
	21	22	23	24	25	26	27	4
	28	29	30	1	2	3	4	
5	5	6	7	8	9	10	11	5
	12	13	14	15	16	17	18	6
	19	20	21	22	23	24	25	7
	26	27	28	29	30	31	1	8
6	2	3	4	5	6	7	8	9
	9	10	11	12	13	14	15	10
	16	17	18	19	20	21	22	11
	23	24	25	26	27	28	29	12
7	30	1	2	3	4	5	6	13
	7	8	9	10	11	12	13	14
	14	15	16	17	18	19	20	15
	21	22	23	24	25	26	27	16・試
	28	29	30	31	1	2	3	試験
8	4	5	6	7	8	9	10	
	11	12	13	14	15	16	17	
	18	19	20	21	22	23	24	
	25	26	27	28	29	30	31	
9	1	2	3	4	5	6	7	
	8	9	10	11	12	13	14	
	15	16	17	18	19	20	21	再試
	22	23	24	25	26	27	28	
	29	30						

	後 期							週 数
	日	月	火	水	木	金	土	
10			1	2	3	4	5	1
	6	7	8	9	10	11	12	2
	13	14	15	16	17	18	19	3
	20	21	22	23	24	25	26	4
	27	28	29	30	31	1	2	5
11	3	4	5	6	7	8	9	6
	10	11	12	13	14	15	16	7
	17	18	19	20	21	22	23	8
	24	25	26	27	28	29	30	9
12	1	2	3	4	5	6	7	10
	8	9	10	11	12	13	14	11
	15	16	17	18	19	20	21	12
	22	23	24	25	26	27	28	13
	29	30	31	1	2	3	4	
1	5	6	7	8	9	10	11	14
	12	13	14	15	16	17	18	15
	19	20	21	22	23	24	25	16
	26	27	28	29	30	31	1	17・試
2	2	3	4	5	6	7	8	試験
	9	10	11	12	13	14	15	
	16	17	18	19	20	21	22	再試
	23	24	25	26	27	28	29	
3	1	2	3	4	5	6	7	
	8	9	10	11	12	13	14	
	15	16	17	18	19	20	21	
	22	23	24	25	26	27	28	
	29	30	31					

備考

- ◇ 5月7日(火) 月曜日授業
- ◇ 6月1日(土) 開学記念日
- ◇ 7月24日(水) 定期試験開始
- ◇ 8月6日(火) 定期試験終了
- ◇ 9月13日(金) 再試験期間開始
- ◇ 9月30日(月) 再試験期間終了

- ◇ 11月6日(水) 月曜日授業
- ◇ 1月16日(木) 月曜日授業
- ◇ 1月17日(金) 午前中のみ金曜日授業
- ◇ 1月28日(火) 定期試験開始
- ◇ 2月10日(月) 定期試験終了
- ◇ 2月12日(水) 再試験期間開始
- ◇ 2月28日(金) 再試験期間終了

Q1 ■ 月曜授業 ■ 火曜授業 ■ 水曜授業
 Q2 ■ 月曜授業 ■ 火曜授業 ■ 水曜授業

■ 木曜授業 ■ 金曜授業
■ 木曜授業 ■ 金曜授業

凡例	高度 Advance d	A	医師と同等のレベルであること	学年	1-3年							2年																	
	応用 Applied	B	スチューデントドクター相当の医学生として積極的に関与、行動できる		科目名	大学入門 ゼミ・情報 科学・IT キャリア入門	基礎手 語・英語 ・社会福祉 ・理学など	人文社会 分野(心 理・生命理 学)	自然分野 (基礎化学 ・生物化学 など)	実験演習 分野(早 稲・理研・ バイオ・コ ーポレーション など)	コミュニ ケーション 英語・医 療英語・第 二外国語 など	健康 スポー ツ科学実 技	基礎 薬理学 (基礎生 物学、基 礎薬理学 など)	基礎 消化器学	基礎 循環器学	基礎 呼吸器学	基礎 泌尿器学	基礎 生殖学	基礎 感覚器学	基礎 神経学	基礎 内分泌・ 代謝学	基礎 血液学	解剖学 実習	基礎感 染症学・ 実習	基礎医 学実習	病理学 総論	社会環 境医学	基礎医 学特論	画像診 断入門
	基礎 Basic	C	基礎となる能力を習得していること																										
	D	基礎となる知識を習得していること																											
	E	経験・習得する機会はあるが、単位認定に関係ない																											
	F	経験・習得する機会がない																											
				単位	3	14	9	6	8	1		1	1	2	1	1.5		1.5	2	1.5	3.5	6	1.5	2.5	2	0.5	0.5		

	・責任ある医療を実践するための倫理観を持ち、それに基づいて行動できる。 ・患者の利益を重視する患者中心の医療を習得し、実践できる。 ・生涯にわたって自己研鑽して高い医療水準と誠実さを持ち続けるために、内発的動機による自己学習能力を持ち、応用できる。																			
1	医の倫理および生命倫理を理解して、適切に行動または判断できる。																			
2	利益相反等、研究倫理に関わる問題を理解して、適切に行動または判断ができる。																			
3	患者や家族のプライバシーに配慮し、守秘義務を厳守することができる。																			
4	患者中心の医療について理解し、実践できる。																			
5	内発的動機の重要性を理解して自己学習し、医療の知識、技能、態度を継続的に向上させることができる。																			
6	社会的に求められる医師像について討論し、目指す医師像を明確にすることができる。																			
7	社会的使命を果たすため、信頼できる行動をとることができる。																			
8	患者や家族にはさまざまな価値観があることを認識し、受け入れることができる。																			
9	同僚や後輩との間で、診療に関する知識や技術を教えあつて共有できる。																			
10	様々なキャリアの医師と交流して、主体的に自らのキャリアについて考えることができる。																			

思いやりの心や共感の理解力といったヒューマンコミュニケーション能力を実践的に習得して、医療現場等で応用できる。 ・障害者とコミュニケーションし、地域フィールドの中でコミュニケーションしたりする能力を実践的に習得して、医療現場等で応用できる。 ・情報社会を理解して、安全かつ有効に情報ネットワークを活用できる。																									
1	患者や障害者家族とコミュニケーションを通じて、良好な関係を築くことができる。	F	F	B	D	F	F	B	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F
2	医療チームのメンバーとコミュニケーションを通じて、連携を図ることができる。	D	F	B	D	F	F	B	F	E	F	F	F	F	F	F	F	F	E	F	F	F	F	F	F
3	聴覚障害者などの障害者と手話等でコミュニケーションをとって、円滑な診療をサポートすることができる。	F	F	B	F	F	E	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F
4	地域フィールドの中で、地域住民、行政関係者、医療関係者らとコミュニケーションをとり、社会性を身につけ良好な関係を築くことができる。	F	F	E	D	F	F	B	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F
5	安全かつ有効に情報ネットワークを活用してコミュニケーションを取ったり、情報を収集したりできる。	C	F	D	F	C	C	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	E	F	F	F	F	F	F

[illegible]

・最新の基礎科学、基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を習得して、応用できる。																									
・医療安全の基礎を学び、予防と対策を講じることができる。																									
1	物理学・化学・生物学の知識を人体の構造と機能の理解に応用できる。	F	F	F	D	F	F	F	D	D	D	C	D	D	E	E	D	D	E	C	D	C	F	D	D
2	人体の正常構造と機能や生命現象に関する知識を習得して、病態の理解に応用できる。	C	F	D	D	F	F	F	D	D	D	C	D	D	D	C	D	D	C	C	D	C	F	D	D
3	人体に関する正常および病態の知識を診断・治療に応用できる。	C	F	D	E	F	F	F	E	D	D	E	E	E	E	C	E	E	E	C	E	C	F	D	E
4	診療に関わる基本的知識と技能を習得して、臨床実習に実践・応用できる。	C	F	E	F	F	F	F	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	F	E	E
5	ガイドラインや論文の情報を活用して、科学的根拠に基づく医療（EBM）を実践できる。	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F
6	疫学・予防・保健・福祉・医療経済といった医療の社会性に関する知識を習得して、地域で応用できる。	F	D	D	F	E	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	D	F	E	C	E	F
7	医療安全の知識を習得して、患者や医療従事者に起こる医療上の事故及び医療関連感染症を防ぐことができる。	F	E	F	F	E	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	C	F	F	E	F	F	F

[illegible]

常に知的探究心を持ち、基礎と臨床の連携で涵養されるリサーチマインドを身につけるとともに、実践的に医学研究に活用できる。																									
イノベーションの重要性を理解して、実践できる。																									
1	医学・科学研究の成果が社会に貢献している実情を知り、重要性を理解できる。	C	C	D	C	E	F	F	E	E	E	E	E	E	D	C	E	E	E	C	C	C	C	C	D
2	医学的・科学的に意義のある研究課題を見出し、研究に取り組むことが出来る。	F	F	F	E	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	C	E	E	E	D	C	E	E	E	D
3	データを解析し、論理的に発表・討論してプレゼンテーションできる。	F	F	D	F	E	F	F	F	F	F	F	C	C	F	D	F	F	E	E	C	E	E	F	E
4	臨床的に意義のある研究課題を見出し、トランスレーショナルリサーチの可能性について探索できる。	F	F	F	E	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
5	創造性豊かな医療人となる基礎を身につけて、診療や医学研究に活用できる。	D	F	D	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	E	E	F	E	C	D	
6	医療における発明の重要性を理解して、イノベーションを実践できる。	E	F	D	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	E	F	F	F	E	E	F	E	C	E

グローバル化に対応できる語学能力と国際感覚を身につけて、応用できる。																								
1	英語を母国語とする人と対話ができる。	F	F	F	F	F	C	F	F	F	F	C	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F
2	国際的な視点で医学研究の情報を収集し、議論で発信できる。	F	E	F	F	F	C	F	F	F	F	C	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F
3	診療英会話を習得して、実践できる。	F	F	E	F	F	C	F	E	E	E	E	F	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
4	国際交流に関心を持ち、多様な異文化を理解できる。	F	E	D	F	F	C	F	F	F	F	E	F	F	F	E	F	F	E	F	F	D	F	F

・地域社会を大切に思い、地域における医療のニーズを認識したうえで、地域医療に貢献できる。																					
1	地域住民の健康状態には、家族、地域社会、文化などの社会環境が関与していることを理解できる。	E	E	D	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	C	D	D
2	地域医療に必要なプライマリケアの考え方や技能を習得し、基礎的事項を実践できる。	E	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	D	F	F
3	地域や地域で暮らす人を尊重し、コミュニティと連携して地域医療の向上に貢献できる。	E	C	D	F	E	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	C	F	F

医学科2年次目次

後期

区分	授業科目名	
選択 主題	医療手話	 1年次参照
選択 主題	社会福祉援助論	 1年次参照
選択 基幹(人文・社会)	生活と法律 刑法	 1年次参照
選択 基幹(人文・社会)	芸術	 1年次参照
選択 基幹(人文・社会)	哲学・倫理学	 1年次参照
必修 基幹(人文・社会)	心理学	 1
必修 基幹(実験演習)	ヒューマン・コミュニケーションⅡ	 2 ～ 3
外国語	医療英語Ⅱ(ウィルシャークラス)	 4
必修 外国語	医療英語Ⅱ(戸野クラス)	 5
外国語	医療英語Ⅱ(ジアディーンクラス)	 6
必修 専門科目	解剖学実習	 7 ～ 9
必修 専門科目	基礎感染症学・実習	 10 ～ 15
必修 専門科目	病理学総論	 16 ～ 17
必修 専門科目	社会環境医学	 18 ～ 19
必修 専門科目	画像診断入門	 20

※選択科目:選択、選択必修科目:選必、必修科目:必修は平成30年度入学者を基準としています。

※医療英語は、クラス分けを発表しますので、確認ください。

※○は、公開授業講座となり、一般の方が講義を受講されることがあります。

授業のレベルについて

1:入門及び初級レベル

2:中級レベル(基礎科目)

3:中級～上級レベル(応用科目)

4:上級レベル(発展科目)

5:大学院レベル

心理学

科目到達目標:心理学の基礎をふまえて、より深い人間理解が可能な知識を習得する。

科目責任者(所属教室):兼子 幸一(精神行動医学)

連絡先:学務課教務係(me-kyoumu@ml.adm.tottori-u.ac.jp)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	10/7(月)	2	121	医学的心理学	菊池 義人	臨床心理学	心理学の基本概念について概説できる。	心理学の歴史、発展
2	10/21(月)	2	121	記憶	太田 貴士	精神科	脳機能における記憶の機能を説明できる。	海馬、空間
3	10/28(月)	2	121	発達心理学1	菊池 義人	臨床心理学	人間の心理的な発達について、理解し説明できる。	認知・思考・情緒・愛着・母子関係・社会性の発達
4	11/6(水)	2	121	感覚、知覚	岩田 正明	精神行動医学	脳機能における知覚の機能を説明できる。	知覚、連合学習
5	11/11(月)	2	121	認知心理学	朴 盛弘	精神行動医学	認知心理学の概要について説明できる。	視覚認知、錯覚、順応
6	11/18(月)	2	121	高次神経機能	朴 盛弘	精神行動医学	高次神経機能障害及びその検査法について説明できる。	注意、記憶、遂行機能、ワーキングメモリー
7	11/25(月)	2	121	情動	岩田 正明	精神行動医学	情動と自律神経系、記憶との関係を説明できる。	情動、扁桃体、条件付け学習、視床下部
8	12/2(月)	2	121	心理テスト1(知能・発達)	井上 雅彦	臨床心理学	知能・能力とその査定法について説明できる。	知能検査、知能指数、適応行動、知的障害、発達障害
9	12/9(月)	2	121	心理テスト2(人格特性)	最上 多美子	臨床心理学	人格とその査定法について説明できる。	性格類型、人格検査、評価尺度
10	12/16(月)	2	121	発達心理学2	兼子 幸一	精神行動医学	ピアジェの発達理論、エリクソンのライフサイクル理論、社会認知機能の発達	ピアジェの発達理論、エリクソンのライフサイクル理論、社会認知機能(心の理論、感情認知、共感性)
11	12/23(月)	2	121	産業心理学	福崎 俊貴	臨床心理学	労働環境の中で生じるストレスとその対処、予防、支援者の役割について概説できる。	ストレス、自殺予防、組織行動マネジメント
12	1/6(月)	2	121	精神療法概論2(行動療法)	井上 雅彦	臨床心理学	学習理論と行動療法の原理・技法について説明できる。	学習、条件付け、応用行動分析、機能分析、行動療法
13	1/16(木)	2	121	精神療法概論1(精神力動論1)	菊池 義人	臨床心理学	精神療法の歴史と力動的精神療法の原理・技法について説明できる。	フロイト、ユング、自由連想法、対象関係論、病態水準論
14	1/20(月)	2	121	精神療法概論3(認知行動療法)	最上 多美子	臨床心理学	認知行動療法の原理・技法、また生活技能訓練や心理教育への応用について説明できる。	認知行動療法、心理教育、生活技能訓練
15	1/27(月)	2	121	精神療法概論4(精神力動論2・その他)	菊池 義人	臨床心理学	力動的精神療法の発展、及び新たな精神療法の流れを説明できる。	パーソンセンタードアプローチ、ロゴセラピー、システムズアプローチ、家族療法、短期療法、集団精神療法

教育グランドデザインとの関連:1、2、3、7

学位授与の方針との関連:1、2、3

授業レベル:1

評価:定期試験

実務経験との関連: 現役の臨床心理士および精神科医が臨床・研究の経験を活かし、各自の専門分野に関する講義を行う。

ヒューマン・コミュニケーションⅡ

科目到達目標: 基本的マナーを習得する, 共感に基づいた対人関係を理解する, コミュニケーションの実践に関して思考し議論する。

科目責任者(所属教室): 角南 なおみ(学部教育支援室)

連絡先: 医学教育総合センター: 6438

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1・2	10/1(火)	3・4	122	○アンケート ○オリエンテーション ○ナラティブ・ベイス・メディスンの理解と習得	角南なおみ	医学教育学	○実習において適切なマナーを確認する ○高齢者との関わりについて理解する ○ナラティブ・ベイス・メディスンの理論と方法を習得する ○グループディスカッションを通して協同の在り方を学ぶ	○ナラティブ・ベイス・メディスン ○対話 ○コミュニケーション ○グループディスカッション
3・4	10/8(火)	3・4	122	○こうほうえん施設関係者説明 ○実習について最終確認 ○ヒューマン・コミュニケーション実習に向けて ○パートナー決定 ○パートナーへのメッセージシート	角南なおみ	医学教育学	○高齢者の心理社会的相互作用について学ぶ ○パートナーとの関わりについて思考しディスカッションする ○訪問先の施設の特徴を理解する	○コミュニケーション ○グループディスカッション
5・6	10/15(火)	3・4	実習	○施設見学、パートナーとご対面 ○ヒューマン・コミュニケーション実習「こうほうえん施設等にて」(パートナーと継続的な関わり体験1回目)	角南なおみ	医学教育学	○関係性の形成を体験から学ぶ ○適切なマナーを習得する ○パートナーの語りを丁寧に聴き取る ○省察とディスカッションの過程で自己表出ができる	○関係性形成 ○省察 ○グループディスカッション
7・8	10/29(火)	3・4	実習	○ヒューマン・コミュニケーション実習「こうほうえん施設等にて」(パートナーと継続的な関わり体験2回目)	角南なおみ	医学教育学	同上	同上
9・10	11/5(火)	3・4	122	○関わり体験前半の省察 ○プロフェッショナリズム ○多様性とコミュニケーション	角南なおみ 河合康明	医学教育学 (非常勤講師)	○関わり体験前半のパートナーのナラティブについて考察する ○関わり体験前半における自己省察をグループディスカッションにより深める ○プロフェッショナリズムを学ぶ(双方向的対話とディスカッション) ○講師の経験をふまえ、コミュニケーションを通して他者を理解することを学ぶ	○患者中心の医療の方法 ○ナラティブ ○共感 ○異文化体験 ○ふれあい囲碁 ○リベラルアーツ

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
11・12	11/12(火)	3・4	実習	○施設見学、パートナーとご対面 ○ヒューマン・コミュニケーション実習「こうほうえん施設等にて」(パートナーと継続的な関わり体験3回目)	角南なおみ	医学教育学	○関係性の形成を体験から学ぶ ○適切なマナーを習得する ○パートナーの語りを丁寧に聴き取る ○省察とディスカッションの過程で自己表出ができる	○関係性形成 ○省察 ○グループディスカッション
13・14	11/19(火)	3・4	実習	○ヒューマン・コミュニケーション実習「こうほうえん施設等にて」(パートナーと継続的な関わり体験4回目)	角南なおみ	医学教育学	同上	同上
15	11/26(火)	3	122	○グループディスカッション ○ヒューマン・コミュニケーション実習におけるナラティブ分析と関わり体験の発表 ○アンケート	角南なおみ	医学教育学	○パートナーのナラティブの分析及び関係性形成のプロセスを体系的に整理し他者に伝える ○省察とディスカッションの過程で自己表出ができる	○ナラティブ分析 ○自己体験過程の表現 ○省察 ○グループディスカッション

教育グランドデザインとの関連:1, 2, 4, 6,

学位授与の方針との関連:2, 4, 6

授業レベル:4

評価:受講態度50%, レポート50%

教科書:配布資料 その他:無遅刻・全出席が単位認定の条件であるため体調管理に十分な注意を払うこと。

医療英語Ⅱ(ウィルシャークラス)

科目到達目標: Being a Good Medical English Speaker.

科目責任者(所属教室): ティム・ウィルシャー(基礎看護学)

連絡先: 0859-38-6301、email: timw@grape.med.tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	10/1(火)	2	112	Introduction	ウィルシャー	基礎看護学	Self-Introduction	hometown, first/given/"Christian" name, last/family name, hobbies/interests
2	10/8(火)	2	112	Lesson 1	ウィルシャー	基礎看護学	Life Expectancy	fiber, high-fiber, obesity, willpower, positive thinking, worthless, calorie, confidence
3	10/15(火)	2	112	Lesson 2	ウィルシャー	基礎看護学	Cancer Prevention	nitrite-cured, cigarette, overweight, brown rice, sunbathing, wart, mole, hoarseness, lump
4	10/29(火)	2	112	Lesson 3 小テスト1	ウィルシャー	基礎看護学	Smoking	(slow) suicide, pack(s), carbon-monoxide, abnormal, smoking ban, continual, indigestion
5	11/5(火)	2	112	Lesson 4	ウィルシャー	基礎看護学	Passive Smoke	non-smoker, warning label, impotent, emphysema, ulcer, inhale, ruin, smelly, smoker's paradise
6	11/12(火)	2	112	Lesson 5	ウィルシャー	基礎看護学	Exercise	merit, capacity, neglect, boring/bored, aerobics, superior, jogging
7	11/19(火)	2	112	Lesson 6	ウィルシャー	基礎看護学	Healthy Food	attractive, energetic, cholesterol, nutritious, habit, eliminate, green tea, brown bread
8	11/26(火)	2	112	Lesson 7 小テスト2	ウィルシャー	基礎看護学	Alcohol	alcoholic, drunkenness, chugging (bottoms up), coordination, cerebellum, intestines
9	12/3(火)	2	112	Lesson 8	ウィルシャー	基礎看護学	Stress	relax, worry, chemicals, colleague, ruin, nicotine, stubborn, naïve, tolerant, moody
10	12/10(火)	2	112	Lesson 9	ウィルシャー	基礎看護学	Obesity	slim, diabetes, self-control, westernized, willpower, consumption, overeat, circulatory system
11	12/17(火)	2	112	Lesson 10	ウィルシャー	基礎看護学	Dental Care	fluoride, tartar, decay, bacteria, particle, enamel, cavity, floss, citrus, waxed, plaque, prevention
12	1/7(火)	2	112	Lesson 11 小テスト3	ウィルシャー	基礎看護学	AIDS	HIV virus, immune system, iceberg, prejudice(-free), condom, fatal, anonymous, intercourse
13	1/14(火)	2	112	発表/オーラル面接	ウィルシャー	基礎看護学		
14	1/21(火)	2	112	発表/オーラル面接	ウィルシャー	基礎看護学		
15	1/28(火)	2	112	発表/オーラル面接 Final Assessment	ウィルシャー	基礎看護学		

教育グランドデザインの関連: 1、2、4

学位授与の方針との関連: 2、4

授業のレベル: 2

評価: 定期試験 40%, 参加 25%, 発表/オーラル面接 25%, 小テストなど 10%

教科書: Healthtalk - 3rd Edition, MacMillan Languagehouse, 2014. 注意: Scheduling of units in the book and choice of materials are subject to change.

医療英語Ⅱ（戸野クラス）

科目到達目標:医療現場で英語のやり取りができるようにする。医療に関連した英文読解、英作文。

科目責任者(所属教室):戸野 康恵(非常勤講師)

連絡先:学務課教務係(me-kyoumu@ml.adm.tottori-u.ac.jp)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	10/1(火)	2	261	Hospital departments	戸野 康恵	非常勤講師	病院の診療科、医療従事者を知る。	department、specialist、healthcare professionals
2	10/8(火)	2	261	Food and health	戸野 康恵	非常勤講師	健康と食事の関係について説明する。	fats, cholesterol, carbohydrates, health problems
3	10/15(火)	2	261	Medication	戸野 康恵	非常勤講師	薬の適切な使用について説明する。	direction, warning, side effect
4	10/29(火)	2	261	Dietary supplements	戸野 康恵	非常勤講師	サプリメントの有用性について説明する。	supplement, effectiveness, safety and risk
5	11/5(火)	2	261	Organs	戸野 康恵	非常勤講師	臓器の名称と働きを知る。	organs
6	11/12(火)	2	261	Genetic testing	戸野 康恵	非常勤講師	検査の内容、留意点について説明する。	genes, inherited disorders
7	11/19(火)	2	261	Vaccination	戸野 康恵	非常勤講師	予防接種の重要性について説明する。	vaccine, childhood diseases
8	11/26(火)	2	261	Stroke	戸野 康恵	非常勤講師	脳卒中の症状、予後について理解する。	symptom, prognosis, disability
9	12/3(火)	2	261	Rehabilitation	戸野 康恵	非常勤講師	脳卒中後のリハビリテーションについて説明する。	movement, activity, assistance, independence
10	12/10(火)	2	261	Musculoskeletal system	戸野 康恵	非常勤講師	体の部位、骨格、筋肉に関する語彙を知る。	body parts, bone, joint, muscle
11	12/17(火)	2	261	Injury	戸野 康恵	非常勤講師	傷害の原因を理解し、治療について説明する。	sports injury, surgery, rehabilitation
12	1/7(火)	2	261	Mental health	戸野 康恵	非常勤講師	うつへの対処法について助言する。	trauma, depression
13	1/14(火)	2	261	Review	戸野 康恵	非常勤講師	既習事項の復習、発表準備。	
14	1/21(火)	2	261	Presentations	戸野 康恵	非常勤講師	発表。	
15	1/28(火)	2	261	試験	戸野 康恵	非常勤講師		

教育グランドデザインの関連:1, 2, 4

学位授与の方針との関連:2, 4

授業レベル:2

評価:定期試験60%、小テスト20%、課題提出20%

指定教科書:教材はその都度配布します。

医療英語Ⅱ（ジアディークラス）

科目到達目標: Being a Good Medical English Speaker.

科目責任者(所属教室): マーク・ジアディーン(非常勤講師)

連絡先: m.giardine@hotmail.com

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・ 分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	10/1(火)	2	262	Class overview/Introduction	ジアディーン	非常勤講師		"Breaking the Ice" game
2	10/8(火)	2	262	Unit 4	ジアディーン	非常勤講師	The Impact of Good Teachers	Education as a weapon, teaching confidence, knowledge retention, stress relief
3	10/15(火)	2	262	Unit 5	ジアディーン	非常勤講師	Humour and Laughter	Differences children/adults, ways to create laughter, health benefits, stress relief
4	10/29(火)	2	262	Unit 8	ジアディーン	非常勤講師	The Different Layers of the Brain	Reptile/Emotional/Thinking Brain, your brain: friend or enemy? Your brain's potential
5	11/5(火)	2	262	Unit 9	ジアディーン	非常勤講師	Technology Addiction	Japan versus the world, South Korean strategy, self addiction, health risks
6	11/12(火)	2	262	Midterm assessment	ジアディーン	非常勤講師	Midterm presentations	
7	11/19(火)	2	262	Midterm assessment	ジアディーン	非常勤講師	Midterm presentations	
8	11/26(火)	2	262	Unit 12	ジアディーン	非常勤講師	Sugar Addiction	Health Risks, global solutions, history of sugar addiction, recent trends
9	12/3(火)	2	262	Unit 14	ジアディーン	非常勤講師	Active Listening	Passive vs. Active listening, changing focus, reflective statements, support statements
10	12/10(火)	2	262	Unit 17	ジアディーン	非常勤講師	Cigarette Advertising	Nicotine, secondhand smoke, class survey, smoking in Japan, health risks, solutions
11	12/17(火)	2	262	Unit 18	ジアディーン	非常勤講師	Right Brain-Left Brain	RB vs.LB quiz, logic vs. emotion, brain usage, switching brain function
12	1/7(火)	2	262	Unit 20	ジアディーン	非常勤講師	Winningfriends/Influencing people	The 9 self-help lessons and how they can change your life; final exam review
13	1/14(火)	2	262	Final Examination 1	ジアディーン	非常勤講師	Oral examinations	
14	1/21(火)	2	262	Final Examination2	ジアディーン	非常勤講師	Oral examinations	
15	1/28(火)	2	262	Final Examination 3	ジアディーン	非常勤講師	Oral examinations	

教育グランドデザインの関連: 1, 2, 4

学位授与の方針との関連: 2, 4

授業のレベル: 2

評価: Participation 30% , Midterm 20% , Essay 10% , Final Exam 40%

教科書: Life Topics: Deeper Connections 2016

解剖学実習

科目到達目標: 人体の正常構造に関する知識を習得するとともに、観察された疾患に関する病態の理解に応用できる。

科目責任者(所属教室): 海藤 俊行(解剖学)

連絡先: 0859-38-6011(解剖学講座)

回数	月日	時限	講義室	実習内容 (頭側担当者)	実習内容 (尾側担当者)	担当者	講座	到達目標	授業のキーワード
1	10/2(水)	3~4	323集合 解剖	オリエンテーション 体表観察、胸部、頸 部の剥皮	オリエンテーション 体表観察、胸部、腹 部の剥皮	解剖学 講座教員	解剖学	実習の目的と注意事項を理解する 皮膚の構造、脈管・神経の区別	体表、真皮、皮下組織、カンパー筋膜、胸腹部の皮 静脈、乳腺
2	10/3(木)	3~4	解剖	胸部、頸部の剥皮	胸、腹部の剥皮	解剖学 講座教員	解剖学	Dermatomeの概念、胸腹部浅層の局所解剖	広頸筋/脊髄神経前枝(前・外側皮枝)
3	10/4(金)	3~4	解剖	頸部(浅層)の観察 (アンケート1)	鼠径部表層の解剖 (アンケート1)	解剖学 講座教員	解剖学	頸部浅層/鼠径部表層の局所解剖	頸部浅層の静脈・神経、頸動脈三角、頸筋膜、胸鎖 乳突筋、頸部リンパ節/浅鼠径輪、スカルパ筋膜
4	10/7(月)	3~4	解剖	頸部(深層)の観察	大腿部の剥皮	解剖学 講座教員	解剖学	頸部深層の局所解剖/大腿の皮神経・皮静脈	舌骨下筋群、内頸静脈、総頸動脈/伏在裂孔、大腿 の皮神経、浅鼠径リンパ節
5	10/9(水)	3~4	解剖	頸部(深層)の観察	下腿・足背・上肢の 剥皮	解剖学 講座教員	解剖学	頸部深層の局所解剖/上肢と下肢の皮神経・皮静脈	頸神経叢、頸神経ワナ、頸部リンパ節/上肢と下肢の 皮神経・皮静脈
6	10/10(木)	3~4	解剖	上肢・下肢(後面) の剥皮	殿部の剥皮	解剖学 講座教員	解剖学	上肢と下肢の皮神経・皮静脈/殿部の皮神経	上肢と下肢の皮神経・皮静脈/上・中・下殿皮神経、 大殿筋
7	10/11(金)	3~4	解剖	背部の剥皮 (アンケート2)	殿部深層 (アンケート2)	解剖学 講座教員	解剖学	背部浅層の神経/殿部深層の局所解剖	脊髄神経後枝/大・中・小殿筋
8	10/16(水)	3~4	解剖	背部の筋	殿部深層と大腿屈側	解剖学 講座教員	解剖学	背部の筋/殿部深層と大腿屈側の局所解剖	僧帽筋、広背筋、前鋸筋/大坐骨孔、梨状筋、仙骨 神経叢の分枝、坐骨神経、大腿二頭筋
9	10/17(木)	3~4	解剖	浅胸筋	大腿伸側	解剖学 講座教員	解剖学	胸部の筋層/大腿伸側の局所解剖	大・小胸筋、鎖骨/大腿三角、大腿四頭筋、大腿動 脈、大腿管、内転筋管
10	10/18(金)	3~4	解剖	腋窩 (第1回口頭試問) (アンケート3)	大腿伸側 (第1回口頭試問) (アンケート3)	解剖学 講座教員	解剖学	腋窩の局所解剖/大腿内側の局所解剖	腋窩リンパ節、腋窩動脈・静脈/大腿深動脈、内転筋 群
11	10/21(月)	3~4	解剖	胸郭出口部	下腿前面	解剖学 講座教員	解剖学	胸郭出口部の局所解剖/下腿前面の局所解剖	静脈角、鎖骨下動脈、腋窩動脈の分枝、前斜角筋/ 浅・深腓骨神経、下腿伸筋群
12	10/23(水)	3~4	解剖	腕神経叢	足背	解剖学 講座教員	解剖学	腕神経叢の構成/足背の局所解剖	神経幹と神経束、筋皮・腋窩・橈骨・正中・尺骨神経/ 下腿伸筋群の腱、足背の筋、足背動脈
13	10/24(木)	3~4	解剖	上肢帯と筋	大腿の屈側、膝窩と 下腿後面	解剖学 講座教員	解剖学	上肢帯筋の構成/大腿屈側、膝窩、下腿後面の局所 解剖	三角筋、内側・外側腋窩隙/半腱様筋、半膜様筋、坐 骨神経、下腿三頭筋、膝窩動脈、足根管
14	10/25(金)	3~4	解剖	上腕屈側の筋 (アンケート4)	膝関節 (アンケート4)	解剖学 講座教員	解剖学	上腕屈側の局所解剖/膝関節の構造	筋間中隔、上腕二頭筋、上腕動脈/側副靱帯、十字 靱帯、半月、変形性膝関節症
15	10/28(月)	3~4	解剖	上腕伸側の筋、手 首と手掌の剥皮	股関節	解剖学 講座教員	解剖学	上腕伸側の局所解剖、手首と手掌/股関節の構造	上腕三頭筋、橈骨神経、手掌腱膜、屈筋支帯/股関 節の靱帯、関節包、寛骨臼、大腿骨頭
16	10/30(水)	3~4	解剖	前腕屈側の筋	肩関節	解剖学 講座教員	解剖学	前腕屈側の局所解剖/肩関節の構造	前腕の屈筋群・血管・神経/回旋筋腱板、肩関節の 関節包・関節窩・関節唇、肩関節脱臼、肩関節周囲 炎
17	10/31(木)	3~4	解剖	前腕伸側の筋	足底	解剖学 講座教員	解剖学	前腕伸側の局所解剖/足底の局所解剖	伸筋支帯と前腕伸筋群/足底腱膜、足底の筋

回数	月日	時限	講義室	実習内容 (頭側担当者)	実習内容 (尾側担当者)	担当者	講座	到達目標	授業のキーワード
18	11/1(金)	3～4	解剖	顔面の剥皮 (アンケート5)	手 (アンケート5)	解剖学 講座教員	解剖学	顔面浅層の局所解剖/手の局所解剖	表情筋、顔面動脈/腱鞘、母指球の筋、正中神経
19	11/6(水)	3～4	解剖	顔面の筋 (第2回口頭試問)	手 (第2回口頭試問)	解剖学 講座教員	解剖学	顔面浅層の局所解剖/手の局所解剖	三叉神経と顔面神経、耳下腺/小指球の筋、尺骨神経、浅掌・深掌動脈弓、虫様筋、骨間筋
20	11/7(木)	3～4	解剖	前胸壁の除去	腹部の筋、腹腔	解剖学 講座教員	解剖学	胸郭の構造/腹部の筋の構成、腹膜のヒダ	肋間筋、肋間神経・動脈・静脈、壁側胸膜、胸腺/腹直筋、外・内腹斜筋、腹横筋、腹壁・鼠径ヘルニア
21	11/8(金)	3～4	解剖	縦隔と胸膜 (アンケート6)	腹腔 (アンケート6)	解剖学 講座教員	解剖学	縦隔の区別と構造/腹膜の構造、腹部内臓の位置	甲状腺の血管、腕頭静脈、胸膜、心膜、横隔神経/正中・内側・外側臍ヒダ、消化器の発生、大網、小網、腸間膜、胃、小腸、結腸、肝臓、腹腔ドレーン留置部位
22	11/11(月)	3～4	解剖	胸部内臓摘出	腹腔	解剖学 講座教員	解剖学	縦隔の局所解剖/消化管の血管系、腹部内臓の摘出(リハビリテーション連携実習)	気管支動脈、反回神経、大動脈弓/上腸間膜動脈、下腸間膜動脈、腹腔動脈、門脈、食道、腹部の神経叢
23	11/13(水)	3～4	解剖	胸部内臓摘出、後部縦隔	腹腔	解剖学 講座教員	解剖学	縦隔の局所解剖/肝臓、胃の構造	心臓の自律神経、星状神経節、食道、胸大動脈、奇静脈、胸管/肝臓、肝区域、胆嚢、胃と動脈・リンパ節
24	11/14(木)	3～4	解剖	後部縦隔	腹腔	解剖学 講座教員	解剖学	縦隔後部の局所解剖/下部消化管の構造	迷走神経、交感神経幹/十二指腸、膵臓、総胆管、膵管、脾臓、空腸、回腸、回盲部、虫垂、結腸
25	11/15(金)	3～4	解剖	肺 (アンケート7)	腹膜後器官 (アンケート7)	解剖学 講座教員	解剖学	肺の構造/腎臓と副腎	肺胸膜、胸膜腔、気管、気管支、肺葉、肺区域、肺根、気管支異物/腎臓の被膜、腎臓、腎門、副腎
26	11/18(月)	3～4	解剖	心臓	腹膜後器官	解剖学 講座教員	解剖学	心臓の外観/腹大動脈、胸管の走向(保健学科連携実習)	心膜、心尖、心底、心房、心耳、心室、冠状動脈、冠状静脈/精巣・卵巣動脈、総腸骨動脈、胸管
27	11/20(水)	3～4	解剖	心臓	横隔膜	解剖学 講座教員	解剖学	心臓の内景/横隔膜の構造(リハビリテーション連携実習)	右心房、右心室、左心房、左心室、心房中隔、心室中隔、動脈弁と房室弁、線維三角、刺激伝道系/横隔膜
28	11/21(木)	3～4	解剖	脊柱と脊髄		解剖学 講座教員	解剖学	固有背筋、脊柱と脊柱管の構造、脊髄髄膜の層構造	固有背筋、脊柱起立筋、脊髄髄膜(硬膜、クモ膜、クモ膜下腔、軟膜)、脊髄神経節、頸・腰膨大、馬尾
29	11/22(金)	3～4	解剖	頭部の切り離し作業、脊髄 (アンケート8)		解剖学 講座教員	解剖学	頭部・頸部移行部の局所解剖、脊髄の構造	椎骨動脈、蓋膜、環椎十字靱帯、脊髄(前索、側索、後索、前角、側角、後角)
30	11/25(月)	3～4	解剖	舌骨上筋群と咽頭 (第3回口頭試問)	鼠径管と会陰 (第3回口頭試問)	解剖学 講座教員	解剖学	顎下三角、オトガイ下部、咽頭の局所解剖/鼠径管の局所解剖、会陰と外陰部の解剖	舌骨上筋群、舌下神経、咽頭収縮筋、咽頭鼻部・口部・喉頭部、嚥下、舌根、扁桃/深鼠径輪、鼠径管、鼠径輪、鼠径ヘルニア、陰嚢、大陰唇
31	11/27(水)	3～4	解剖	甲状腺、気管と喉頭	会陰	解剖学 講座教員	解剖学	甲状腺の局所解剖、喉頭の構造/会陰の局所解剖	甲状腺、上皮小体、喉頭の軟骨と筋、声帯/会陰の筋、外肛門括約筋
32	11/28(木)	3～4	解剖	頭蓋内面と頭部の正中断、口腔	骨盤下部臓器、勃起器官	解剖学 講座教員	解剖学	脳硬膜、硬膜静脈洞、頭蓋窩の理解、口腔の構造/骨盤下部臓器の位置、勃起器官の構成	大脳鎌、小脳テント、硬膜静脈洞、下垂体、脳神経、舌、舌乳頭/前立腺、陰嚢、陰茎・陰核と海綿体、尿道
33	11/29(金)	3～4	解剖	口腔、鼻腔と鼻中隔 (アンケート9)	骨盤内臓器の観察と取り出し (アンケート9)	解剖学 講座教員	解剖学	口腔の構造、鼻腔の構造/骨盤内臓器の局所解剖	顎下腺、舌下腺、舌神経、鼻中隔、鼻甲介、/膀胱、直腸、子宮、ダグラス窩、子宮広間膜、骨盤神経叢
34	12/2(月)	3～4	解剖	鼻腔と咽頭鼻部、顔面深層	男性・女性泌尿生殖器、直腸と肛門	解剖学 講座教員	解剖学	鼻腔側壁と咽頭鼻部の構造、咀嚼筋と下顎骨の構造/男性・女性泌尿生殖器の構造、肛門の局所解剖	鼻腔の動脈、耳管咽頭口、咀嚼筋、下顎管/膀胱、男性生殖器(精巣、精管)、女性生殖器(卵管、卵巣、子宮)、直腸膨大部、肛門管、歯状線

回数	月日	時限	講義室	実習内容 (頭側担当者)	実習内容 (尾側担当者)	担当者	講座	到達目標	授業のキーワード
35	12/4(水)	3～4	解剖	顔面深層	後腹壁	解剖学 講座教員	解剖学	顎関節と側頭下窩の構造/後腹壁の筋と腰神経叢	顎関節、側頭筋、顎動脈、舌神経、大・小口蓋神経、 翼口蓋神経節/腸腰筋、腰神経叢
36	12/5(木)	3～4	解剖	眼球付属器	体幹と骨盤の半切	解剖学 講座教員	解剖学	眼瞼、結膜、涙器の構造/骨盤の血管	眼瞼、結膜、涙腺、涙嚢、鼻涙管/椎間円板、変形性 脊椎症、内腸骨動脈の枝、陰部神経管
37	12/6(金)	3～4	解剖	眼窩と眼球、聴覚器 (アンケート10)	仙骨神経叢、肘関節 (アンケート10)	解剖学 講座教員	解剖学	眼窩と眼球の構造、聴覚器の構造/仙骨神経叢、肘 関節の構造 (頭頸部外科連携実習)	外眼筋と支配神経、視神経、眼動脈の枝、毛様体神 経節、鼓膜、鼓室、耳小骨/仙骨神経叢、肘関節の 内側・外側側副靱帯、橈骨輪状靱帯
38	12/9(月)	3～4	解剖	眼窩と眼球、内耳	足関節	解剖学 講座教員	解剖学	眼窩と眼球の構造、内耳の構造、足関節の構造	眼球(水晶体など)、内耳(半規管、蝸牛管)、耳介/ 内腸骨動脈、足関節の内側・外側靱帯、シヨパール・ リスフラン関節
39	12/11(水)	3～4	解剖	上顎洞 (第4回口頭試問) (アンケート11)	骨髄、指節関節 (第4回口頭試問) (アンケート11)	解剖学 講座教員	解剖学	上顎洞、骨髄、指節関節	上顎洞/黄色・赤色骨髄、指節関節の靱帯
40	12/16(月)	3～4	解剖	まとめ、清掃・納骨 (アンケートまとめ)		解剖学 講座教員	解剖学	解剖学実習の総まとめ	感謝・畏敬の念

教育ブランドデザインとの関連：2、3、5、6、7

学位授与の方針との関連：1、2、3、4

授業レベル：3

評価：口頭試問及び剖出チェック

実務経験との関連：研究医がその経験を生かして、解剖学実習の指導を行う。

その他：

- ・ 時間厳守、解剖学実習を行う者として常識ある態度をとること。
- ・ 解剖学実習は学生4人で行う共同作業であるので、正当な理由なくして休むことは許されない。
- ・ 上記のシラバスは、実習の進行状況に応じて適宜変更することがある。
- ・ 10/2(水)は、オリエンテーションとして最初に実習の注意事項を説明するので、323講義室に集合すること。
- ・ 令和2年春に解剖体慰霊祭が予定されているので、全員が出席すること。
- ・ アンケートでは、実習の進捗状況や解剖所見を調査するとともに、ピア評価を実施する。
- ・ この解剖学実習の時限数は新カリキュラム対象者(2018年度1年次入学者及び2019年度学士編入学者)に対するものである。それ以前の入学者は必要単位数の違いから、各実習日に約25分間の追加実習が必要となる(応用解剖学実習)。
- ・ 連携実習については、暫定的な日程を示している。

基礎感染症学・実習

到達目標:

- 1) 寄生虫の生活史とヒトへの感染様式、体内移行経路、免疫応答などの病態、症状・診断・治療および病害動物・病害伝搬について理解する。
- 2) 病原細菌および真菌類の特徴とその感染症、抗菌薬療法と感染制御の基本的な考え方を理解し、感染症診療における論理的分析力および総合的判断力を身につける。
- 3) 病原ウイルスの特徴とその感染症、感染制御の基本的な考え方を理解し、感染症診療と予防における分析力・判断力を身につける。

科目責任者(所属教室): 景山 誠二(ウイルス学)

連絡: E-mail skageyama@tottori-u.ac.jp 電話 0859-38-6081

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者名	講座分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	10/3(木)	1	121	ウイルス学総論(1)	景山 誠二	ウイルス学	ウイルス感染症の問題について概略を説明できる	輸入感染症、市中感染症、サーベイランス、流行制御、医療機関・地方と中央行政・国際機関
2	10/3(木)	2	121	ウイルス学総論(2)	景山 誠二	ウイルス学	ウイルスの生物学的性状、複製、発症病理について概略を説明できる	形態、構造と分類、細胞死、発癌、伝播経路、複製(増殖)、免疫と自然経過、免疫回避、流行
3	10/4(金)	1	121	蠕虫総論	大槻 均	医動物学	蠕虫類の分類、形態学的特徴、生活史、感染経路と疫学を説明できる	吸虫、条虫、線虫、形態、生活史、感染経路、人獣共通感染症
4	10/7(月)	1	121	原虫総論	大槻 均	医動物学	原虫類の分類、形態学的特徴、生活史、感染経路と疫学を説明できる	原虫、生活史、感染経路、宿主特異性、臓器特異性
5	10/10(木)	1	121	ウイルス学総論(3)	景山 誠二	ウイルス学	予防と治療からなる感染症対策の概略を説明できる	診断と検査、抗ウイルス薬、遺伝子変異、薬剤耐性、滅菌と消毒
6	10/10(木)	2	121	ウイルス学各論(1) Pox, Arena, Bunya, Filo, Flavi, Rabiesviruses と感染症	景山 誠二	ウイルス学	関連ウイルスの伝播様式・増殖機構、診断・治療・予防方法について概説できる。	Pox, Arena, Bunya, Filo, Flavi, Rabiesviruses
7	10/11(金)	1	121	消化管寄生線虫症	大槻 均	医動物学	回虫や糞線虫など消化管寄生虫症が説明できる	回虫、鉤虫、鞭虫、蟯虫、糞線虫、フィリピン毛細虫、東洋眼虫
8	10/16(水)	1	121	細菌学総論(1) 細菌の分類と構造、物質代謝	松葉 隆司	細菌学	細菌の分類と構造、物質代謝について理解する。	莢膜、細胞壁、鞭毛、芽胞、代謝
9	10/16(水)	2	121	細菌学総論(2) 細菌感染の機構と細菌毒素	藤井 潤	細菌学	細菌感染の成立と発症の条件を理解する。細菌毒素の作用機序を理解する。	感染経路、潜伏期、定着因子、細菌毒素
10	10/17(木)	1	121	ウイルス学各論(1) Pox, Arena, Bunya, Filo, Flavi, Rabiesviruses と感染症(続き)	景山 誠二	ウイルス学	関連ウイルスの伝播様式・増殖機構、診断・治療・予防方法について概説できる。	Pox, Arena, Bunya, Filo, Flavi, Rabiesviruses
11	10/17(木)	2	121	ウイルス学各論(2) 各種 herpesviruses と感染症	金井 亨輔	ウイルス学	関連ウイルスの伝播様式・増殖機構、診断・治療・予防方法について概説できる。	各種herpesviruses、潜伏と再活性化
12	10/18(金)	1	121	幼虫移行症	大槻 均	医動物学	組織寄生の幼虫移行症が説明できる	イヌ回虫、ブタ回虫、アライグマ回虫、広東住血線虫
13	10/21(月)	1	121	幼虫移行症	大槻 均	医動物学	組織寄生の幼虫移行症が説明できる	アニサキス、顎口虫、旋尾線虫、マンソン孤虫、芽殖孤虫
14	10/23(水)	1	121	細菌学総論(3) 細菌の遺伝学、病原性、診断法	松葉 隆司	細菌学	細菌の遺伝、病原因子、診断手法について理解する。	プラスミド、バクテリオファージ、伝達、変異、毒素
15	10/23(水)	2	121	細菌学総論(4) 化学療法剤とワクチン	藤井 潤	細菌学	化学療法薬の特徴、作用機序、薬剤耐性機構を理解する。また代表的ワクチンについて理解する。	化学療法剤の化学構造、作用点、作用機序、ワクチン
16	10/24(木)	1	121	ウイルス学各論(2続き) 各種 herpesviruses と感染症	金井 亨輔	ウイルス学	関連ウイルスの伝播様式・増殖機構、診断・治療・予防方法について概説できる。	各種herpesviruses、潜伏と再活性化

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者名	講座分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
17	10/24(木)	2	121	ウイルス学各論(3) Adeno, Calici, Rota, Enteroviruses と感染症	景山 誠二	ウイルス学	関連ウイルスの伝播様式・増殖機構、診断・治療・予防方法について概説できる。	Adeno, Calici, Rota, Enteroviruses
18	10/25(金)	1	121	門脈・肝・胆道系、消化管寄生吸虫症	大槻 均	医動物学	住血吸虫症や肝蛭症など主な吸虫類の説明ができる	住血吸虫、セルカリア皮膚炎、肝蛭、肝吸虫、横川吸虫
19	10/28(月)	1	ETU2-5~8・3-3~13	感染症チュートリアル(1)	感染制御学講座全教員	全分野	症例等の文献検索・文献収集をし、各グループで学習・発表準備を行う	病原体、感染経路、症状、検査法、診断、治療、予防、感染制御
20	10/30(水)	1	121	細菌学各論(1) グラム陽性有芽胞桿菌	松葉 隆司	細菌学	グラム陽性有芽胞桿菌の特徴と疾患を理解する。	バシラス属、クロストリジウム属、外毒素、芽胞形成
21	10/30(水)	2	121	細菌学各論(2) グラム陽性球菌、グラム陰性球菌	藤井 潤	細菌学	グラム陽性および陰性球菌群の特徴と疾患を理解する。	ブドウ球菌、レンサ球菌、淋菌、髄膜炎菌
22	10/31(木)	1	121	ウイルス学各論(4) Hepatitis A, B, C, D, E viruses と感染症	金井 亨輔	ウイルス学	関連ウイルスの伝播様式・増殖機構、診断・治療・予防方法について概説できる。	Hepatitis A, B, C, D, E viruses
23	10/31(木)	2	121	ウイルス学各論(5) Measles, Mumps, Rubella, Parvoviruses と感染症、ワクチンと予防接種	金井 亨輔	ウイルス学	関連ウイルスの伝播様式・増殖機構、診断・治療・予防方法について概説できる。	Measles, Mumps, Rubella, Parvoviruses、ワクチン、予防接種
24	11/1(金)	1	121	消化管、組織寄生条虫症	近藤 陽子	医動物学	主要な条虫症の説明ができる	日本海裂頭条虫、大複殖門条虫、無鉤条虫、有鉤条虫、有鉤囊虫症
25	11/6(水)	1	ETU2-5~8・3-3~13	感染症チュートリアル(2)	感染制御学講座全教員	全分野	症例等の文献検索・文献収集をし、各グループで学習・発表準備を行う	病原体、感染経路、症状、検査法、診断、治療、予防、感染制御
26	11/7(木)	1	121	ウイルス学各論(6) Papillomavirus と感染症	金井 亨輔	ウイルス学	関連ウイルスの増殖機構、診断・治療・予防方法について概説できる。	Papillomavirus
27	11/7(木)	2	121	ウイルス学各論(7) HTLV-I, HIV-1,2 と感染症	景山 誠二	ウイルス学	関連ウイルスの増殖機構、診断・治療・予防方法について概説できる。	HTLV-I, HIV-1,2
28	11/8(金)	1	ETU2-5~8・3-3~13	感染症チュートリアル(3)	感染制御学講座全教員	全分野	症例等の文献検索・文献収集をし、各グループで学習・発表準備を行う	病原体、感染経路、症状、検査法、診断、治療、予防、感染制御
29	11/11(月)	1	ETU2-5~8・3-3~13	感染症チュートリアル(4)	感染制御学講座全教員	全分野	症例等の文献検索・文献収集をし、各グループで学習・発表準備を行う	病原体、感染経路、症状、検査法、診断、治療、予防、感染制御
30	11/13(水)	1	121	細菌学各論(3) 抗酸菌とジフテリア	松葉 隆司	細菌学	結核菌、非結核性抗酸菌、ジフテリア菌の病原性と病態および治療を理解する。	結核菌、非結核性抗酸菌、細胞内寄生性、ジフテリア、ワクチン
31	11/13(水)	2	121	細菌学総論(4) 消毒と滅菌、感染症法	藤井 潤	細菌学	消毒と滅菌が適切に行うことができる。新感染症法を正しく理解する。	消毒薬、加熱滅菌、オートクレーブ、濾過滅菌、バイオテロリズム
32	11/14(木)	1	121	ウイルス学各論(8) 呼吸器感染症	景山 誠二	ウイルス学	関連ウイルスの伝播様式・増殖機構、診断・治療・予防方法について概説できる。	Parainfluenzaviruses, RS viruses, Rhinoviruses, Metapneumo, Boca, SARS-CoV, MERS-CoV,
33	11/14(木)	2	121	ウイルス学各論(9) Influenza	景山 誠二	ウイルス学	関連ウイルスの伝播様式・増殖機構、診断・治療・予防方法について概説できる。	Influenzaviruses,
34	11/15(金)	1	ETU2-5~8・3-3~13	感染症チュートリアル(5)	感染制御学講座全教員	全分野	症例等の文献検索・文献収集をし、各グループで学習・発表準備を行う	病原体、感染経路、症状、検査法、診断、治療、予防、感染制御
35	11/18(月)	1	121	肺寄生虫症	大槻 均	医動物学	ニューモシスチス肺炎など主要な肺寄生虫症の症候、診断・治療を説明できる	ニューモシスチス、肺吸虫、犬糸状虫
36	11/20(水)	1	121	細菌学各論(5) 動物由来感染症	松葉 隆司	細菌学	動物由来感染症の特徴と疾患および治療を理解する。	ブルセラ症、野兔病、猫ひっかき病、Q熱
37	11/20(水)	2	121	細菌学各論(6) レジオネラと呼吸器感染症	藤井 潤	細菌学	レジオネラの細胞内寄生機構と病態・治療を理解する。百日咳菌、インフルエンザ菌の病態を理解し、診断できる。	レジオネラ、百日咳菌、インフルエンザ菌
38	11/21(木)	1	121	血液・リンパ系寄生、組織寄生	大槻 均	医動物学	組織寄生虫症の特徴が説明できる	バンクロフト系状虫、回旋系状虫、メジナ虫、旋毛虫
39	11/21(木)	2	121	消化管・肝、脳寄生虫症	大槻 均	医動物学	エキノコックス症、アメーバ赤痢を説明できる	エキノコックス、赤痢アメーバ、病原性自由生活性アメーバ

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者名	講座分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
40	11/22(金)	1	121	消化管、生殖器、血液・組織寄生原虫症	大槻 均	医動物学	腸管および生殖器寄生原虫および血液・組織寄生原虫を説明できる	クリプトスポリジウム、ジアルジア、トリコモナス、トキソプラズマ
41	11/25(月)	1	121	細菌学各論(7)クラミジア科、リケッチア目	松葉 隆司	細菌学	クラミジア科、リケッチア目細菌の特徴と疾患を理解する。	偏性細胞内寄生性、媒介節足動物、性感染症
42	11/27(水)	1	121	細菌学各論(8)カンピロバクターとヘリコバクター	藤井 潤	細菌学	カンピロバクターとヘリコバクター病原性・病態および治療を理解する。	食中毒、小児下痢症、慢性胃炎と胃潰瘍、胃がん、ウレアーゼ
43	11/27(水)	2	121	細菌学各論(9)腸内細菌科の細菌とビブリオ属	藤井 潤	細菌学	腸内細菌科の細菌とビブリオ属の病原性と病態を理解する。	サルモネラ、下痢原性大腸菌、赤痢、腸チフス、ペスト、コレラ、腸炎ビブリオ
44	11/28(木)	1	121	血液・組織寄生原虫症	坪井 敬文	医動物学(非常勤講師)	マラリアの生活史、症状、診断・治療について説明ができる	マラリア
45	11/28(木)	2	121	血液・組織寄生原虫症	坪井 敬文	医動物学(非常勤講師)	マラリアの生活史、症状、診断・治療について説明ができる	マラリア
46	11/29(金)	1	121	血液・組織寄生原虫症	伊藤 大輔	医動物学	トリパノソーマ、リーシュマニアおよび熱帯医学の基本的事項を説明できる	トリパノソーマ、リーシュマニア、熱帯医学
47	12/3(火)	3	感染生化	医動物学実習・線虫類	大槻 均 近藤 陽子 伊藤 大輔	医動物学	回虫、アニサキスなど主要な線虫類の形態学的特徴を把握し診断ができる	回虫、蟯虫、糞線虫、アニサキス
48	12/3(火)	4, 5	感染生化	医動物学実習・吸虫類	大槻 均 近藤 陽子 伊藤 大輔	医動物学	主要な吸虫類の形態学的特徴を把握し診断できる	肺吸虫、日本住血吸虫、肝蛭、肝吸虫、横川吸虫
49	12/4(水)	1	121	真菌学総論	槇村 浩一	細菌学(非常勤講師)	真菌の生物学的、細胞生物学的、生態学的特徴を明らかにした上で診断・治療・予防法を学修する。	二形性、孢子、深在性真菌症、表在性真菌症、真菌アレルギー、マイコトキシン、日和見感染、基礎疾患
50	12/4(水)	2	121	真菌学各論	槇村 浩一	細菌学(非常勤講師)	病原真菌として重要な菌種を分類学的に列挙した上で、各々医学・医療上必要となる事項を学修する。	カンジダ症、アスペルギルス症、クリプトコッカス症、ムコール症、皮膚糸状菌症
51	12/5(木)	1	121	病原保有、病原伝播	大槻 均	医動物学	病原保有、病原伝播について説明できる。	ツツガムシ、日本紅斑熱、ライム病、マダニ
52	12/5(木)	2	121	病害動物、ダニアレルギー	大槻 均	医動物学	病害動物およびダニアレルギーについて説明できる。	毒蛇咬傷・ハチ刺傷、疥癬、ケジラミ、アレルギー、ヒョウヒダニ
53	12/6(金)	1	121	寄生虫感染と免疫応答	近藤 陽子	医動物学	寄生虫感染免疫および寄生虫由来免疫抑制因子について理解できる	寄生虫感染と免疫応答、免疫抑制因子
54	12/10(火)	3	感染生化	医動物学実習・条虫類	大槻 均 近藤 陽子 伊藤 大輔	医動物学	主要な条虫類の形態学的特徴を把握し診断ができる	エキノコックス、日本海裂頭条虫、マンソン裂頭条虫、無鉤条虫
55	12/10(火)	4, 5	感染生化	医動物学実習・原虫類	大槻 均 近藤 陽子 伊藤 大輔	医動物学	主要な原虫類の形態学的特徴と組織像を把握し診断できる	赤痢アメーバ、ジアルジア、クリプトスポリジウム、
56	12/11(水)	1	121	医師・旅行者のための予防接種と抗体検査	千酌 浩樹	感染制御部	臨床実習までに充分時間のある時期に、予防接種・抗体検査の意義について理解し、必要な対策を立てられる。	予防接種、抗体価と感染、医療関係者、旅行者
57	12/11(水)	2	121	ウイルス学実習の説明	金井 亨輔	ウイルス学	ウイルス検査に応用されている手法について概説できる。	ウイルス検査手技、細胞変性効果、HA、HI、PCR
58	12/12(木)	1	121	ウイルス学各論(10) BK/JC viruses, Prionと感染症	景山 誠二	ウイルス学	関連ウイルスの伝播様式・増殖機構、診断・治療・予防方法について概説できる。	BK/JC viruses, Prion
59	12/12(木)	2	121	ウイルス学各論(11) 総括と臨床感染症学への繋ぎ	景山 誠二	ウイルス学	関連ウイルスの伝播様式・増殖機構、診断・治療・予防方法について概説できる。	各種ウイルス、予防、治療、研究
60	12/12(木)	3	感染生化	医動物学実習・原虫類	大槻 均 近藤 陽子 伊藤 大輔	医動物学	マラリアなど主要な原虫の形態学的特徴を把握し診断できる	熱帯熱マラリア、三日熱マラリア

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者名	講座分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
61	12/12(木)	4, 5	感染生化	医動物学実習・原虫類	大槻 均 近藤 陽子 伊藤 大輔	医動物学	主要な原虫と衛生動物の形態学的特徴を把握し診断できる	トキソプラズマ、ニューモシスチス、マダニ
62	12/13(金)	1	121	寄生虫症の診断と治療	大槻 均	医動物学	寄生虫症の診断法と治療法を説明できる	臨床寄生虫学、好酸球増多、免疫診断、遺伝子診断、駆虫薬
63	12/13(金)	5	121	細菌学各論(10) 食中毒と集団感染	藤井 潤	細菌学	食中毒を中心とした集団感染の予防対策ができる。	集団感染、食中毒、腸管出血性大腸菌O157
64	12/17(火)	3	122	医動物学発表会(1)	大槻 均、 近藤 陽子、 伊藤 大輔	医動物学	寄生虫感染症例を提示し、感染経路、症状、診断、治療、予防の要点を説明し議論できる。	臨床寄生虫学
65	12/17(火)	4	122	医動物学発表会(2)	大槻 均、 近藤 陽子、 伊藤 大輔	医動物学	寄生虫感染症例を提示し、感染経路、症状、診断、治療、予防の要点を説明し議論できる。	臨床寄生虫学
66	12/18(水)	1	121	ウイルス学発表会(1)	景山 誠二、 金井 亨輔	ウイルス学	ウイルス感染症例を提示し、ウイルスの特徴、感染経路、症状、診断、治療、予防の要点を説明し、議論できる。	臨床ウイルス学
67	12/18(水)	2	121	ウイルス学発表会(2)	景山 誠二、 金井 亨輔	ウイルス学	ウイルス感染症例を提示し、ウイルスの特徴、感染経路、症状、診断、治療、予防の要点を説明し、議論できる。	臨床ウイルス学
68	12/19(木)	3	感染生化	ウイルス学実習：細胞変性効果	景山 誠二 金井 亨輔	ウイルス学	ウイルス感染により細胞に異常を生じることを、形態変化の観察によって知る。	細胞形態の変化、細胞死、倒立顕微鏡
69	12/19(木)	4, 5	感染生化	ウイルス学実習：細胞変性効果	景山 誠二 金井 亨輔	ウイルス学	同上	同上
70	12/20(金)	5	121	細菌学各論(11)口腔細菌	大原 直也	細菌学 (非常勤講師)	超高齢社会に伴い歯周病菌など口腔細菌と全身疾患の関係が重要視されている。誤嚥性肺炎を中心に口腔細菌の役割を概説する。	口腔細菌、歯周病菌、誤嚥性肺炎
71	12/24(火)	3	感染生化	ウイルス学実習：血清検査	景山 誠二 金井 亨輔	ウイルス学	ウイルス感染を診断する方法のひとつとして、血清を材料とする診断学の一端を学ぶ。	血清、抗原、抗体、HA、HI
72	12/24(火)	4, 5	感染生化	ウイルス学実習：血清検査	景山 誠二 金井 亨輔	ウイルス学	同上	同上
73	12/25(水)	1	121	医動物学発表会(3)	大槻 均、 近藤 陽子、 伊藤 大輔	医動物学	寄生虫感染症例を提示し、感染経路、症状、診断、治療、予防の要点を説明し議論できる。	臨床寄生虫学
74	12/26(木)	3	感染生化	ウイルス学実習：核酸検査	景山 誠二 金井 亨輔	ウイルス学	ウイルス感染を診断する方法のひとつとして、ウイルス核酸を材料とする診断学の一端を学ぶ。	遺伝子増幅、PCR、電気泳動、分子量、遺伝子配列
75	12/26(木)	4, 5	感染生化	ウイルス学実習：核酸検査	景山 誠二 金井 亨輔	ウイルス学	同上	同上
76	12/27(金)	5	121	細菌学各論(12)マイコプラズマ科細菌、スピロヘータ、放線菌類	尾鶴 亮	細菌学	マイコプラズマ科細菌、ポレリア、レプトスピラ、トレポネマ、放線菌類の病原性と病態および治療を理解する。	マイコプラズマ肺炎、非淋菌性尿道炎、ライム病、ワイル病、梅毒、アクチノマイセス、ノカルジア
77	1/7(火)	3	感染生化	細菌学実習・顕微鏡の使い方、無菌操作、グラム染色	藤井 潤 松葉 隆司 尾鶴 亮	細菌学	顕微鏡の使い方と無菌操作を習得し、形態と染色性によって細菌を分類できる。	グラム染色性
78	1/7(火)	4, 5	感染生化	細菌学実習・顕微鏡の使い方、無菌操作、グラム染色	藤井 潤 松葉 隆司 尾鶴 亮	細菌学	同上	同上
79	1/8(水)	1	121	医動物学発表会(4)	大槻 均、 近藤 陽子、 伊藤 大輔	医動物学	寄生虫感染症例を提示し、感染経路、症状、診断、治療、予防の要点を説明し議論できる。	臨床寄生虫学

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者名	講座分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
80	1/9(木)	3	感染生化	細菌学実習・化学療法剤と耐性菌	藤井 潤 松葉 隆司 尾鶴 亮	細菌学	化学療法剤の作用と耐性菌について理解する。	グラム染色性、Genus <i>Staphylococcus</i> 、 Genus <i>Escherichia</i>
81	1/9(木)	4, 5	感染生化	細菌学実習・化学療法剤と耐性菌	藤井 潤 松葉 隆司 尾鶴 亮	細菌学	同上	同上
82	1/10(金)	5	121	細菌学各論(13) 院内感染と緑膿菌	藤井 潤	細菌学	緑膿菌とブドウ糖非発酵菌の病原性を理解する。耐性菌について学び、院内感染の対策を実行できる。	院内感染、市中感染、緑膿菌、MRSA, VRE, ESBL, MBL, アシネトバクター
83	1/14(火)	3	感染生化	細菌学実習・鼻前庭および咽頭の常在菌	藤井 潤 松葉 隆司 尾鶴 亮	細菌学	マイコプラズマ、芽胞菌の特徴が説明できる	Genus <i>Mycoplasma</i> , Genus <i>Clostridium</i> , Genus <i>Bacillus</i>
84	1/14(火)	4, 5	感染生化	細菌学実習・鼻前庭および咽頭の常在菌	藤井 潤 松葉 隆司 尾鶴 亮	細菌学	同上	同上
85	1/15(水)	1	121	ウイルス学発表会(3)	景山 誠二、 金井 亨輔	ウイルス学	ウイルス感染症例を提示し、ウイルスの特徴、感染経路、症状、診断、治療、予防の要点を説明し、議論できる。	臨床ウイルス学
86	1/21(火)	3	感染生化	細菌学実習・下痢原因菌の同定(1)	藤井 潤 松葉 隆司 尾鶴 亮	細菌学	細菌学的診断と血清学的診断ができる。	細菌の栄養と物質代謝、血清学的診断
87	1/21(火)	4, 5	感染生化	細菌学実習・下痢原因菌の同定(1)	藤井 潤 松葉 隆司 尾鶴 亮	細菌学	同上	同上
88	1/22(水)	1	121	ウイルス学発表会(4)	景山 誠二、 金井 亨輔	ウイルス学	ウイルス感染症例を提示し、ウイルスの特徴、感染経路、症状、診断、治療、予防の要点を説明し、議論できる。	臨床ウイルス学
89	1/23(木)	3	感染生化	細菌学実習・真菌	槇村 浩一 藤井 潤 松葉 隆司 尾鶴 亮	細菌学	アスペルギルス、白癬菌等主要病原真菌の発育性状と、微生物検査としての利用法・解釈法について学修する。	アスペルギルス、白癬菌、カンジダ
90	1/23(木)	4, 5	感染生化	細菌学実習・真菌	槇村 浩一 藤井 潤 松葉 隆司 尾鶴 亮	細菌学	同上	同上
91	1/24(金)	4	121	細菌学発表会(1)	藤井 潤、 松葉 隆司、 尾鶴 亮	細菌学	細菌学的特徴、臨床的特徴、診断、治療(抗菌薬療法)、予防、感染制御の要点を説明し議論できる	臨床細菌学
92	1/28(火)	3	感染生化	細菌学実習・下痢原因菌の同定(2)	藤井 潤 松葉 隆司 尾鶴 亮	細菌学	腸内細菌科細菌の同定ができる	Genus <i>Escherichia</i> , Genus <i>Salmonella</i> , Genus <i>Shigella</i>
93	1/28(火)	4, 5	感染生化	細菌学実習・下痢原因菌の同定(2)	藤井 潤 松葉 隆司 尾鶴 亮	細菌学	同上	同上
94	1/29(水)	1	121	細菌学発表会(2)	藤井 潤、 松葉 隆司、 尾鶴 亮	細菌学	細菌学的特徴、臨床的特徴、診断、治療(抗菌薬療法)、予防、感染制御の要点を説明し議論できる	臨床細菌学
95	1/30(木)	3	121	細菌学発表会(3)	藤井 潤、 松葉 隆司、 尾鶴 亮	細菌学	細菌学的特徴、臨床的特徴、診断、治療(抗菌薬療法)、予防、感染制御の要点を説明し議論できる	臨床細菌学

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者名	講座分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
96	1/30(木)	4	121	細菌学発表会(4)	藤井 潤、 松葉 隆司、 尾鶴 亮	細菌学	細菌学的特徴、臨床的特徴、診断、治療(抗菌薬療法)、予防、感染制御の要点を説明し議論できる	臨床細菌学

教育グランドデザインとの関連:1、2、3、4、5、6

学位授与の方針(医学科)との関連:1、2、3、4、5

授業のレベル:2(中級レベル:基礎科目)、一部3(中級～上級レベル:応用科目)

評価:

- 全ての分野(細菌学・ウイルス学・医動物学)において理解が十分と判断される場合に限り合格とし、最終評価点は平均点とします。
- 何れかの分野において、理解が不十分な場合には、平均点に関係なく「基礎感染症学・講義」の単位は修得できません。
- 受講態度・実習態度およびレポートも評価項目とする場合があります。

実務経験との関連:以下の実務経験を持つ教員が、各自の専門分野に関する講義を行う。

- ウイルス学分野: 本学・他大学医学部に於ける学生講義と研究。国内外研究施設に於ける研究。病院診療。政府開発援助による臨床検査指導。ワクチンメーカーに於ける製造・品質検査。
- 細菌学分野: 本学・他大学医学部に於ける学生実習指導と研究。国内外研究施設に於ける研究。政府開発援助による臨床検査指導。ワクチンメーカーに於ける製造・品質検査。行政機関における食肉衛生検査。
- 医動物学分野: 本学・他大学医学部に於ける学生講義と研究。国内外研究施設に於ける研究。病院診療。寄生虫症例についての医療相談。

教科書/参考書:特に指定しない。代表的な教科書は以下の通り。

- 医動物学分野: 1)寄生虫学テキスト(第3版)、文光堂、2008年; 2)図説人体寄生虫学(第9版)、南山堂、2016年、
- 細菌学分野: 1)戸田新細菌学 改訂34版・南山堂(2013)、2)標準微生物学 第11版・医学書院(2012)

その他)臨床麻酔実践シリーズ9・麻酔科医が知っておくべき感染症の知識 ライフメディコム、医真菌100種 臨床で見逃していたカビたち
メディカルサイエンスインターナショナル

- ウイルス学分野: 代表的な教科書は以下のとおりであり、訳書も販売されている。追加資料を必要とする場合には教育担当者と個別に協議することを勧める。

1. Principles of virology: molecular biology, pathogenesis, and control of animal viruses. Flint et al. ASM Press Washington DC, USA
2. Harrison's principles of internal medicine, McGraw-Hill, NY, USA.

その他の注意事項:細菌学講義には初回から、完充電済のノートパソコンまたはタブレットが必須です。Moodleに接続できるようにしておいて下さい。スマホの使用は不可です。

各教員への連絡方法:それぞれの担当分野のホームページから連絡先を検索し、直接お訪ね下さい。

科目責任教員への連絡方法:面談その他は、随時可能です。特に、放課後5時から7時を学生面談の標準時間にしています。連絡は、skageyama@tottori-u.ac.jp まで。

病理学総論

科目到達目標: 病因と病態(遺伝子異常と疾患, 発生発達異常, 細胞傷害・変性と細胞死, 代謝障害, 循環傷害, 炎症と創傷治癒, 感染, 腫瘍)及び関連する代表的な病理組織像について理解する。

科目責任者(所属教室): 梅北 善久(病理学分野)

連絡先: E-mail: yume@tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	12/18(水)	3	121	病理学について, 環境要因・栄養障害	梅北 善久	病理学分野	環境要因及び栄養障害による代表的な疾患の病態を説明できる	病理専門医, フクロームP-450, 経口避妊薬, 物理的因子による傷害, 蛋白エネルギー栄養障害
2	12/18(水)	4	121	細胞傷害・変性と細胞死 1	野坂 加苗	病理学分野	細胞傷害・変性と細胞死のパターン, 病因と意義を説明できる	ATP, フリーラジカル, 凝固壊死, 液化壊死, 乾酪壊死, 脂肪壊死, フィブリノイド壊死, アポトーシス, 萎縮
3	12/19(木)	1	121	遺伝性疾患・発生発達異常	梅北 善久	病理学分野	遺伝子・染色体異常と発生発達異常や疾患との関連を説明できる	家族性高コレステロール血症, 糖原病, ライソゾーム蓄積病, リーボ病, ミコンドリア遺伝子変異, ケノムインプリンティング, 多因子遺伝, 変形, 破壊
4	12/19(木)	2	121	循環障害 1	加藤 雅子	病理学分野	水腫, 充血と鬱血, ショックが説明できる	浮腫, 水腫, 充血, 鬱血, ショック, 心不全, 腎性浮腫, 脳浮腫
5	12/20(金)	1	121	細胞傷害・変性と細胞死 2	野坂 加苗	病理学分野	代表的な変性疾患とAutophagy, 細胞老化について説明できる	細胞内蓄積症(脂質, 蛋白, 硝子変性, グリコゲン, 色素), 病的石灰化(異栄養性石灰化, 転移性石灰化), Autophagy, 細胞老化
6	12/23(月)	3	121	循環障害 2	加藤 雅子	病理学分野	出血と凝固機序, 血栓症が説明できる	出血, 凝固機序, 出血性素因, 血栓症, 血小板, 線溶系
7	12/23(月)	4	121	循環障害 3	加藤 雅子	病理学分野	塞栓症, 梗塞が説明できる	塞栓症, 塞栓の種類, 肺塞栓症, 白色梗塞, 赤色梗塞
8	12/25(水)	3	組織系	実習 1 (細胞傷害・変性)	野坂 加苗 坂部 友彦	病理学分野	細胞傷害に伴う組織像が説明できる	脂肪肝, マリー小体, 硝子滴変性, リボフスチン沈着, コーシェ病, 塵肺症, 凝固壊死, 液化壊死, 転移性石灰化
9	12/25(水)	4	組織系	実習 2 (細胞傷害・変性)	野坂 加苗 坂部 友彦	病理学分野	細胞傷害に伴う組織像が説明できる	ヘモジデリン沈着, マニン沈着, 胆汁鬱滞, 粘液変性, アミロイド沈着
10	12/26(木)	1	組織系	実習 3 (循環傷害)	加藤 雅子	病理学分野	循環障害に伴う組織像が説明できる	浮腫, 充血, うっ血, 出血, 血栓, 塞栓, 梗塞, ショック
11	12/26(木)	2	組織系	実習 4 (循環傷害)	加藤 雅子	病理学分野	循環障害に伴う組織像が説明できる	浮腫, 充血, うっ血, 出血, 血栓, 塞栓, 梗塞, ショック
12	1/6(月)	3	121	創傷治癒	長田 佳子	病理学分野	創傷治癒に関する細胞とその過程を説明できる	組織細胞反応, 肉芽組織反応, 間質細胞, 組織修復, 細胞増殖因子, 細胞外マトリックス, 再生
13	1/6(月)	4	組織系	実習 5 (創傷治癒)	長田 佳子	病理学分野	創傷治癒に関する組織像を説明できる	組織細胞反応, 肉芽組織反応, 間質細胞, 組織修復
14	1/8(水)	3	121	炎症 1	野坂 加苗	病理学分野	炎症の定義, 急性炎症と慢性炎症について説明できる	炎症の4徴(5徴), 急性炎症, 慢性炎症, 炎症細胞の概略
15	1/8(水)	4	121	炎症 2	野坂 加苗	病理学分野	急性炎症のメカニズムと代表的な形態変化について説明できる	白血球の遊走, 走化, phagocytosis, サイトカイン, NETs, 漿液性炎, 線維索性炎, 化膿性炎, 潰瘍, 急性炎症の転帰
16	1/9(木)	1	121	腫瘍 1	梅北 善久	病理学分野	腫瘍の定義と良性・境界・悪性腫瘍の特徴を説明できる。	異型度, 多形性, 退形成, 浸潤, 転移, 分化度, 異型度, 異形成, 上皮内癌, 肥大, 過形成, 腺癌, 扁平上皮癌, 尿路上皮癌, 未分化癌
17	1/9(木)	2	121	免疫病理 1	桑本 聡史	病理部	免疫系の生物学、免疫反応による組織障害が説明できる	免疫系の細胞, MHC, 液性免疫, 細胞性免疫, I 型-IV型アレルギー
18	1/10(金)	1	121	炎症 3	野坂 加苗	病理学分野	慢性炎症に伴う組織変化, 炎症の全身に対する影響について説明できる	癰疽, 膿瘍, 肉芽性炎, 結核結節, サルコイド肉芽腫, リウマチ結節
19	1/15(水)	3	121	腫瘍 2	梅北 善久	病理学分野	がんの疫学、内因及び環境要因について説明できる	職業癌, 遺伝性腫瘍症候群, 前癌病変, 炎症性発癌, アスベスト, 中皮腫, 播種, ラテン癌, 幹細胞, ニッチ, 腫瘍マーカー, TNM分類, 原発不明癌

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
20	1/15(水)	4	組織系	実習 6 (腫瘍)	梅北善久 坂部 友彦	病理学分野	良性腫瘍と悪性腫瘍の代表的な組織像が説明できる	腺種, 腺癌, 扁平上皮癌, 上皮内癌, 低分化腺癌, 過形成ホリーフ
21	1/16(木)	3	121	免疫病理 2	桑本 聡史	病理部	自己免疫疾患やアミロイドーシスの病態が説明できる	自己免疫疾患, IgG4関連疾患, アミロイドーシス
22	1/16(木)	4	121	免疫病理 3	桑本 聡史	病理部	臓器移植に関連する免疫反応、免疫不全症、免疫系を利用したがん治療が説明できる	拒絶反応, GVHD, 原発性免疫不全症, AIDS, がん免疫療法
23	1/20(月)	3	121	腫瘍 3	坂部 友彦	病理学分野	ウイルス発癌・化学発癌の分子機構、腫瘍免疫・宿主に及ぼす影響について説明できる	HTLV-1, HPV E6, HPV E7, EBV, HBV, Initiation, Promotion, AflatoxinB1, 腫瘍抗原, NK細胞
24	1/20(月)	4	121	腫瘍 4	坂部 友彦	病理学分野	浸潤と転移の分子機構について概説できる	細胞外基質, EMT, MMPs, E-cadherin, Catenins, Cathepsin, Laminin
25	1/22(水)	3	121	腫瘍 5	梅北 善久	病理学分野	発癌の分子機構について概説できる	Oncogene, 癌抑制遺伝子, LOH, EGFR, RAS, HER2, TGF- α , ドライバー変異, MYC, Cyclins, CDK4,
26	1/22(水)	4	121	炎症 4	野坂 加苗	病理学分野	感染症による炎症性変化を病原体別に説明できる	細菌感染, 真菌感染, 原虫感染, 寄生虫感染, ウイルス感染, リケッチア, クラミジア, マイコプラズマ
27	1/23(木)	1	組織系	実習 7 (腫瘍)	梅北善久 坂部 友彦	病理学分野	良性腫瘍と悪性腫瘍の代表的な組織像が説明できる	扁平上皮癌, 低分化型腺癌, 尿路上皮癌, 印環細胞癌, 過形成ホリーフ
28	1/23(木)	2	組織系	実習 8 (免疫病理)	桑本 聡史	病理部	免疫反応による組織学的変化・病変を説明できる	関節リウマチ, シェーグレン症候群, 強皮症, GVHD, IgG4関連疾患
29	1/24(金)	1	121	腫瘍 6	梅北 善久	病理学分野	発癌の分子機構について概説できる	microRNA, WT1, APC, β -catenin, p16, p21, TGF- β , BRCA1, APC, β -catenin, PTEN, VHL, HIF1, Apoptosis, 細胞老化, テロメア, テロメラーゼ
30	1/27(月)	3	121	腫瘍 7	梅北 善久	病理学分野	発癌の分子機構について概説できる	間質の微小環境, VEGF, VEGFR, 遺伝子がん症候群, MSI, ゲノム不安定性, Warburg 効果, 染色体相互転座, Epigenetics
31	1/27(月)	4	組織系	実習 9 (腫瘍)	梅北善久 坂部 友彦	病理学分野	良性腫瘍と悪性腫瘍の代表的な組織像が説明できる	平滑筋腫, 平滑筋肉腫, 脂肪腫, 脂肪肉腫, 神経鞘腫
32	1/29(水)	3	組織系	実習 10 (炎症)	野坂 加苗 坂部 友彦	病理学分野	急性炎症に伴う組織像が説明できる	浸潤細胞, 微小循環, 漿液性炎, 線維索性炎, 化膿性炎, 出血性炎, 壊死性炎
33	1/29(水)	4	組織系	実習 11 (炎症)	野坂 加苗 坂部 友彦	病理学分野	慢性炎症に伴う組織像が説明できる	瘢痕, 膿瘍, 肉芽性炎, 結核結節, サルコイド肉芽腫, リウマチ結節
34	1/30(木)	1	組織系	実習 12 (炎症)	野坂 加苗 坂部 友彦	病理学分野	感染症に伴う炎症性変化の組織像を説明できる	細菌感染, 真菌感染, 原虫感染, 寄生虫感染, 日和見感染, ウイルス感染, リケッチア, クラミジア, マイコプラズマ
35	1/30(木)	2	組織系	総復習	全教員	病理学分野	循環障害, 免疫異常, 創傷治癒に伴う代表的な組織像が説明できる	
36	1/31(金)	1	組織系	総復習	全教員	病理学分野	細胞傷害, 変性, 炎症, 腫瘍の代表的な組織像が説明できる	
37	2/3(月)	3	C演習室	実習試験	全教員	病理学分野	細胞傷害, 変性, 炎症, 腫瘍, 循環障害, 免疫異常, 創傷治癒に伴う代表的な組織像が説明できる	
38	2/3(月)	4	C演習室	実習試験予備	全教員	病理学分野	細胞傷害, 変性, 炎症, 腫瘍, 循環障害, 免疫異常, 創傷治癒に伴う代表的な組織像が説明できる	

教育ブランドデザインとの関連: 2、3、4

学位授与方針との関連: 1、2、3

授業レベル: 3

評価: 定期試験, 実習試験, 学習態度を総合的に評価する。

実務経験との関連: 現役の医師がその経験を活かし、各自の専門分野に関する講義を行う。

参考書(講義用推奨): Basic Pathology (9th eds.), ルービン病理学(西村書店), 解明病理学(医歯薬出版), 標準病理学(医学書院)

参考書(実習用推奨): 病理組織の見方と鑑別診断(医歯薬出版), 組織病理アトラス(文光堂)

社会環境医学

科目到達目標:健康、疾病を取り巻く社会的環境についての知識と考え方を習得する。

科目責任者(所属教室):尾崎 米厚(環境予防医学)

連絡先:研究室TEL:0859-38-6103

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	10/1(火)	1	121	社会構造と健康・疾病	黒沢 洋一	健康政策医学	家族、コミュニティ、地域社会、国際化と健康、疾病との関係を説明できる。	家族、地域社会の変貌、人口構造の変化、労働力人口の変化、高齢化の特徴、国際化、健康の社会決定要因
2	10/8(火)	1	121	保健、医療、福祉システム	尾崎 米厚	環境予防医学	医療制度、福祉制度、わが国の保健医療福祉システムの特徴を説明できる。	医療制度改革、医師確保対策等医療政策のトピックス、保健医療福祉制度の国際比較、医療法、医療計画、医療体制、医療従事者
3	10/15(火)	1	121	高齢者保健	天野 宏紀	健康政策医学	高齢者保健の実際、高齢者保健対策の概要を説明できる。	老人福祉法、高齢者医療確保法、後期高齢者医療制度、介護保険法、要介護認定、ケアマネジメント、介護給付、介護予防、高齢者総合的機能評価(CGA)
4	10/29(火)	1	121	保健所の活動	吉田 良平	環境予防医学(非常勤講師)	保健所の活動の実際、公衆衛生医の役割について説明できる。	健康づくり活動、環境衛生、保健医療福祉システム作り、健康危機管理、喫煙対策、感染症対策、医師確保対策
5	11/5(火)	1	121	環境保健 公害対策	尾崎 米厚	環境予防医学	環境汚染と健康、公害病について概説できる。	四大公害病、薬害、現代の公害、世界の公害、公害対策
6	11/12(火)	1	121	労働衛生、産業保健	能勢 隆之	健康政策医学(非常勤講師)	産業保健(労働関係法規を含む)を概説できる。	労働基準法、労働安全衛生法、産業医、作業環境管理、作業管理、健康管理、労働災害、職業性疾病、じん肺、放射線、職業性腰痛
7	11/19(火)	1	121	疾病の概念	尾崎 米厚	環境予防医学	健康、障害と疾病の概念を説明できる。	健康の定義、健康水準の尺度、健康の権利、WHOの定義、障害の定義
8	11/26(火)	1	121	社会福祉、障害者福祉	天野 宏紀	健康政策医学	社会福祉制度、障害者福祉の概要を説明できる。	社会保障制度、障害の概念、国際生活機能分類、ノーマライゼーション、バリアフリー、ユニバーサルデザイン、QOL障害者の福祉施策、障害者基本計画、障害者手帳、在宅障害児・者、障害者総合支援法、社会福祉、地域福祉、生活保護、医療扶助
9	12/2(月)	1	121	環境と健康	黒沢 洋一	健康政策医学	環境と健康・疾病との関係(環境と適応)を理解する。	環境と適応、適応の例、環境要因の分類、ホメオスタシス、主体環境系、環境形成作用、社会的適応、生態環境系
10	12/3(火)	1	121	成人保健	尾崎 米厚	環境予防医学	成人保健の実際、成人保健対策の概要を説明できる。	健康増進法、健康日本21(2次計画)、生活習慣病対策、特定健康診査、特定保健指導、がん対策基本法、がん診療連携拠点病院、がん対策推進基本計画
11	12/9(月)	1	121	内分泌攪乱物質	増本 年男	健康政策医学	生態系の変化が健康と生活に与える影響(内分泌攪乱物質)。	ダイオキシン、DES、PCB、BPA、スチレン・ダイマー、ポリマー、シックハウス症候群
12	12/10(火)	1	121	災害医療	尾崎 米厚	環境予防医学	災害医療の実態と課題を説明できる。	災害の種類と被害、災害拠点病院、健康危機管理、災害医療体制、救急搬送、広域搬送、トリアージ、災害時保健医療活動、原子力災害、メンタルケア
13	12/16(月)	1	121	生態系、環境の変化と健康	黒沢 洋一	健康政策医学	生態系の変化と健康、地球環境の変化と健康との関連が説明できる。	地球環境の変化、温暖化、生態系への影響、黄砂、PM2.5、大気汚染、水質汚濁、水問題、乾燥地、生体循環、生体濃縮、室内大気汚染、ディーゼル排気、環境基本法、酸性雨、オゾン層破壊、エルニーニョ
14	12/17(火)	1	121	精神保健、難病	金城 文	環境予防医学	精神疾患の実態、精神保健対策の概要、難病対策の概要、主な難病について説明できる。	障害者自立支援法、精神保健指定医、任意入院、措置入院、医療保護入院、精神医療審査会、自立支援医療、精神通院医療、精神保健福祉法、精神保健福祉センター、精神障害者保健福祉手帳、自殺対策、発達障害者支援、高次脳機能障害、心神喪失者等医療観察法、こころのバリアフリー、特定疾患、難治性疾患、指定医、難病医療拠点病院、難病医療支援ネットワーク、難病医療コーディネーター、難病医療地域基幹病院、難病の医療費助成、難病情報センター、難病相談・支援センター、難病患者就労サポーター
15	12/23(月)	1	121	環境と健康 考え方と事例	福島 哲仁	環境予防医学(非常勤講師)	環境と健康についての考え方の基本を整理。	リスク、安全、安心、リスクコミュニケーション、環境と健康
16	12/24(火)	1	121	環境発癌物質	黒沢 洋一	健康政策医学	生態系の変化が健康と生活に与える影響(環境発癌物質)。	ダイオキシン、電磁波、放射線、職業性曝露物質
17	12/25(水)	2	121	国際社会と健康・疾病	尾崎 米厚	環境予防医学	国際保健の現状、課題、方法を説明できる。	世界の疾病の状況、国際保健の課題、開発と健康、ジェンダー、貧困、飢餓、国際保健の方法

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
18	1/6(月)	1	121	公衆栄養	天野 宏紀	健康政策医学	公衆栄養の実態、課題、対策について説明できる。	国民健康栄養調査、食事摂取基準、推定エネルギー必要量、食事バランスガイド、主要栄養素の実態
19	1/7(火)	1	121	有害物質、環境基準と環境影響評価	黒沢 洋一	健康政策医学	生態系の変化が健康と生活に与える影響(有害物質)、環境と健康・疾病との関係(環境基準と環境影響評価)を説明できる。	環境基準、許容濃度、生体影響評価、環境影響評価、生物濃縮、量-反応関係、量-影響関係、リスクコミュニケーション、有機溶剤、特化物。酸欠。
20	1/8(水)	2	121	在宅医療、終末期医療、へき地医療、地域医療	桑原 祐樹	環境予防医学	在宅医療、終末期医療、へき地医療の実態と課題を説明できる。	終末期ケア、緩和ケア、地域医療、へき地医療、離島医療、在宅医療、家庭医療、地域包括ケアシステム
21	1/14(火)	1	121	地域医療システム、地域保健医療計画、病診連携、病病連携、医療の質	黒沢 洋一	健康政策医学	地域医療の機能と体制(地域保健医療計画、地域医療ビジョン)、地域医療の機能と体制(へき地医療)、病診連携と病病連携、医療の質の確保の方法について説明できる。	地域医療の定義、地域医療の要素、地域保健医療計画、医療圏、必要病床数、医療資源、都市部における地域医療、病診連携、医師会、地域医療政策、医療の質の要素
22	1/15(水)	2	121	感染症対策	金城 文	環境予防医学	日本と世界の感染症の実態、感染症対策の方法と課題について説明できる。	新興感染症、再興感染症、新感染症、感染症法、検疫法、予防接種法、サーベイランス、隔離、医療体制、特定感染症指定医療機関、院内感染症、患者搬送、アウトブレイク、パンデミック、バイオテロリズム、結核対策
23	1/16(木)	1	121	衛生行政	尾崎 米厚	環境予防医学	国際的公衆衛生行政の動向と厚生行政、健康危機管理、衛生行政の意義と内容を説明できる。	公衆衛生医、厚生行政の実態、医療政策、ヘルスプロモーション、ハイリスクアプローチ、ポピュレーションアプローチ、ソーシャルキャピタル、健康危機管理
24	1/20(月)	1	121	救急医療	黒沢 洋一	健康政策医学	救急医療の実態と課題を説明できる	救急医療体制、一次救急、二次救急、三次救急、休日夜間医療、高度救命救急センター、救急搬送、救急救命士、小児救急、周産期救急
25	1/21(火)	1	121	食品保健、薬事行政	天野 宏紀	健康政策医学	食中毒の実態、食品保健対策、薬事衛生対策、最近の薬害事例について説明できる。	食中毒、自然毒、食品衛生法、食品表示、食品添加物、遺伝子組み換え食品、保険機能食品、特別用途食品、健康食品、HACCP、薬事行政、薬害、医薬品副作用被害、生物由来製品感染、被害者救済制度、安全性と有効性の確保法
26	1/22(水)	2	121	母子保健、学校保健	金城 文	環境予防医学	母子保健および学校保健の実態、母子保健対策や学校保健対策の概要を説明できる。	母子保健法、出産・育児に関する制度、母体保護法、母子保健統計、児童福祉法、児童虐待防止法、妊産婦への施策、疾病や障害を持った子供の支援策、学校保健安全法、校医、養護教諭、学校健診、学校感染症、等
27	1/27(月)	1	121	公衆衛生のキャリアパス	黒沢 洋一	健康政策医学	公衆衛生分野の専門性の獲得方法、専門家養成方法を理解する。	公衆衛生専門職、公衆衛生大学院、MPH、公衆衛生医、産業医、海外留学、国際機関
28	1/28(火)	1	121	医療経済と国民医療費	天野 宏紀	健康政策医学	医療経済学の方法と適応事例を説明できる。	費用対効果、費用便益、国民医療費、医療費削減方法、診療報酬、公費医療、医療の質の評価、医療資源と医療サービスの価格形成
29	1/29(水)	2	121	都道府県の衛生行政	藤井 秀樹	環境予防医学(非常勤講師)	都道府県庁の衛生部の活動の実態、公衆衛生医の役割。	健康づくり活動、環境衛生、保健医療福祉システム作り、健康危機管理、喫煙対策、感染症対策、医師確保対策
30	1/31(金)	4	121	公衆衛生における対策事例	尾崎 米厚	環境予防医学	公衆衛生対策事例を理解する。	国(内閣府)におけるアルコール対策の事例をあげ、国際的動向に呼应し、立法化され、それに沿って省庁連携し、新たな対策を作り上げるプロセスを説明する。

教育グランドデザインとの関連:1、2、3、4、6、7

学位授与の方針との関連:1、2、3、4

授業レベル:2

評価:定期試験90%、講義演習での態度10%

実務経験との関連:自治体、機関、企業で関連分野に関わる教員、特別講師が各自の専門分野に関する実習を行う。

画像診断入門

科目到達目標: 正常の画像解剖を説明できる。

科目責任者(所属教室): 藤井 進也(画像診断治療学)

連絡先: 放射線科医局0859-38-6637

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	12/13(金)	3	121	脳の画像診断	藤井 進也	画像診断治療学	脳の正常画像解剖を説明できる。	脳の画像解剖
2	12/20(金)	3	121	頭頸部の画像診断	山本 修一	画像診断治療学	頭頸部の正常画像解剖を説明できる。	頭頸部の画像解剖
3	12/20(金)	4	121	呼吸器の画像診断	塚本 和充	画像診断治療学	呼吸器の正常画像解剖を説明できる。	呼吸器の画像解剖
4	12/27(金)	3	121	循環器の画像診断	高杉 昌平	画像診断治療学	循環器の正常画像解剖を説明できる。	循環器の画像解剖
5	12/27(金)	4	121	消化器の画像診断	石橋 愛	画像診断治療学	消化器の正常画像解剖を説明できる。	消化器の画像解剖
6	1/10(金)	3	121	泌尿・生殖器の画像診断	三好 秀直	画像診断治療学	泌尿・生殖器の正常画像解剖を説明できる。	泌尿・生殖器の画像解剖
7	1/10(金)	4	121	女性骨盤の画像診断	藤井 進也	画像診断治療学	女性の骨盤内臓器の正常画像解剖を説明できる。	女性骨盤領域の画像診断
8	1/24(金)	3	121	骨関節の画像診断	矢田 晋作	画像診断治療学	骨関節の正常画像解剖を説明できる。	骨関節の画像解剖

教育ブランドデザイン: 2、3、5

学位授与の方針: 1、2、3

授業のレベル: 2

評価: 定期試験90%

学習態度10%

実務経験との関連: 現役の医師がその経験を活かし、各自の専門分野に関する講義を行う。

参考書: ポケット正常画像 A to Z メディカルビュー

医学生・研修医のための画像診断リファレンス 医学書院

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。